

## 6.平成11年度研究ニーズ調査結果と課題化の経過

試験研究要望項目	試験研究機関等の意見	要望機関団体名	平成12年度実施予定課題名
シロカラシのパーティシリウム菌の感受性の調査	中央農試で実施中の「ジャガイモ半身萎ちょう病の総合防除」で検討を要望したい。	網走地区農業改良普及センター	今後も課題化を追求
キャベツ・はくさい等、葉菜類の縁腐れ症状・芯腐れ症状の発生メカニズムの解明	ハクサイについて検討中。上川支庁管内については、地域対応として実態調査を含めた課題化を検討したい。	士別地区農業改良普及センター	今後も課題化を追求
トマトのセル成型苗の直接定植と整枝誘引による省力栽培法の検討	生産拡大が期待できるトマトでの省力化として、技術開発が必要。	空知南西部地区農業改良普及センター	今後も課題化を追求
トマトの内部品質の評価方法と栽培法の検討	機能性成分は未検討。迅速測定法を含めた検討が必要。基準を満たす栽培法については、試験が必要と考えられる(園芸)。糖度と酸度に関しては、近赤外法で測定できることが判っている。実用機の開発は民間が加わらないと不可能である。内部成分の指標値設定は今後も続けなければならない課題である(農産化学)。	日高西部地区農業改良普及センター	今後も課題化を追求
メロンの糖度安定向上試験	作型の変化や品種の変遷に伴い、新たに試験が必要。ただし、テーマが大きいため、現地で問題となる作型、品種の絞り込みが必要。	中後志地区農業改良普及センター	「秋どりメロンの糖度向上技術確立試験」(原環センター予定)
花壇苗・鉢花品目および品種の選定とその栽培マニュアルの作成	北海道の夏の涼さを活用した府県向けの苗、鉢物の栽培体系の確立、新規品目の開発の試験研究は急務である。	北後志地区農業改良普及センター	「プリムラの作型開発」
スターチス、シヌアータの秋期生産性向上	種子系品種についての成績はあるが、栽培の中心である栄養系品種について課題化が必要。	空知北部地区農業改良普及センター	「スターチス・シヌアータ(栄養系品種)の灰色かび病被害軽減のための栽培法の改善」
スプレーカーネーションの2年切り作型の確立	スプレーカーネーションの作期拡大のため、2年切り栽培の研究は必要。	空知西部地区農業改良普及センター	今後も課題化を追求
デルフィニウムの作期拡大と品質安定化技術の確立	デルフィニウムは北海道の特産品目として今後も伸びが期待され、府県への移出が大前提であり、それに伴う作期拡大と品質の解決は必要である。	日高東部地区農業改良普及センター 三石町農業実験センター	今後も課題化を追求
トルコギキョウの超促成作型の栽培方法確立	道内のトルコギキョウ栽培の作期拡大のためには、超促成栽培法の確立が必要。	空知南東部地区農業改良普及センター	今後も課題化を追求
バラの良質多収生産に向けた仕立て法の改善	バラは主要品目であり、最近の仕立て法の変化に対応した試験研究が必要。	空知西部地区農業改良普及センター	今後も課題化を追求
無側枝性ギクの安定生産技術の確立	輪ギクは主要品目であり、今後の試験研究対応は必要。	月形農協、みねのぶ農協 空知中央地区農業改良普及センター	今後も課題化を追求
花きの鮮度保持技術の向上	輸送量、品質保持に対する要求、保鮮剤などの変化があり、今後も引き続き時代に即応した試験を行いたい。	農産園芸課	今後も課題化を追求
花き栽培適地適作による産地づくり	行政の事業のなかで、地域農業センターなどと協力しながら「地域対応」の一環として取り組んでいきたい。	農産園芸課	「道央水田地帯における複合的施設

			園芸作物導入の経営・技術指針」
計画的な花きの生産出荷を行うための栽培技術の確立	出荷時期の調整にともなう作型開発は花き試験の重要な課題であり、今後ともニーズ強い品目について随時課題化を検討したい。	農産園芸課	「球根花きのコンテナ栽培による開花調節」
北海道の大地を利用した露地栽培の確立（粗放的花き栽培の確立）	国内外における新規品目の本道での適応性を含め、現在の事業において農産園芸課と協力しながら、市場性、栽培性などを検討していきたい。また、苗木を含めた露地栽培品目の創出と技術開発について試験場が主体となって進めていきたい。	農産園芸課	今後も課題化を追求
軽労働化に向けた生食用ぶどうの仕立て法	これまで生食用ぶどうの栽培では、棚仕立てによる長梢剪定をすすめてきたが、府県の試験場では、垣根仕立てや可動棚、改良棚、底面ネット栽培など軽労働化に向けた試験が実施されている。本道でも使用する品種・ハウスの有無・根域制限の有無などニーズを検討して必要な試験の実施を考慮する。	北後志地区農業改良普及センター	「種なしぶどう」の品種選定と高品質果実生産技術の確立」
観光果樹農業を視点においた品種の開発や技術の確立	A：品種については、実施中の課題の中で対応。 B：減農薬栽培法、観光果樹園の成立条件について検討必要。	農産園芸課	今後も課題化を追求
C P Mに対応した飼料分析データ整備	分析センターとの打ち合わせにおいて、新たな項目の重要性は把握している。現在検閲中。	十勝東北部普及センター	「低コスト生産のための乳牛飼料設計支援システムの確立」
子牛における免疫機能と微量ミネラル・バランスの関係	免疫機能と関係が深いミネラルとしてセレン、銅、亜鉛などが知られているが、子牛における関連については明らかにされていない。試験課題として取り上げないが、基礎的データは獲得していく。	ホクレン	「肉用子牛における下痢予防のための衛生管理技術」
乳牛の分娩時間の調整	H12年以降で検討の予定	宗谷北部地区農業改良普及センター	今後も課題化を追求
乳用種去勢牛育成・肥育体系の確立（肉量増加と肉質向上を実現する若齢肥育生産体系）	早急に実態を調査し、改善点を明らかにしたい。それを踏まえて、実証的肥育試験も計画する。	ホクレン	「道産乳用種去勢牛に対する生産技術の緊急開発」
泌乳効率を重視した乳牛サイズの検討	今後、関係機関の参画も含め、課題化が必要。	北海道酪農畜産協会	今後も課題化を追求
フリーストール牛舎における伝染性疾病の蔓延防止または清浄化対策を容易にするための構造の改善	フリーストール飼養では省力化のシステムが追求され、そのシステムが衛生的にデータを持って評価されるのはあまりない。	網走家畜保健衛生所	今後も課題化を追求
乳牛の飼料設計支援システムの確立	既往の成果を整理したマニュアル作成の必要性を認めている。日本飼養標準・乳牛の改訂（1999年版）を契機に検討したい。	十勝中部普及センター	「低コスト生産のための乳牛飼料設計支援システムの確立」
サイレージにおけるカビ毒の検討	穀物飼料およびサイレージ中にカビが発生した場合にマイコトキシンによる家畜の健康被害や生産性の低下が懸念される。これら飼料中のマイコトキシンの分析は国内ではほとんど対応していないため実態がつかめない。本年度、サイレージ中のマイコトキシンについて実態調査を検討中(Gプロ依託分析)。	十勝農協連	今後も課題化を追求
リグニン簡易分析法の開発	リグニンは飼料のエネルギー価（TDN-NE1）を推定する重要なファクターとして主にアメリカで使われている。その際、分析方法が指定されているため簡易分析で行うとその意味がなくなる。従って、近赤外分析での対応とすべきと考える。道内における粗飼料分析において（特にTDN推定において）リグニンが必要かどうか精査して対応したい。	十勝農協連	今後も課題化を追求
近赤外分析におけるマメ科牧草及びコーンサイレージの検量線作成	検量線統一作業は現在、サイレージに続きイネ科主体乾草について行われている。引き続き、マメ科牧草およびコーンサイレージについて対応が必要。	十勝農協連	今後も課題化を追求
作物体栄養診断手法	トマト、ホウレンソウ、ブロッコリーについて検討中。総合的診断技術確	空知南西部地区農業	今後も課題化を追求

の開発	立に向けて課題化を検討したい。	改良普及センター	求
たまねぎ葉先枯れ症状の原因、収量的影響および解決策	早急な課題化は困難であるが、突発性生理障害課題などで実態把握を進めたい。	湧別地区農業改良普及センター	今後も課題化を追求
夏播き緑肥作物を導入した輪作体系技術の確立	指針には要望課題の夏まき緑肥は示されていない。これら緑肥の作物も増加し、要望の背景も理解される。課題化の必要性は認めるが現在輪作試験が多く進められており、新たに課題化することは困難と考えられる。また、現行課題の中での対応も困難がある。受託試験が考慮されるのならば対応可能である。	ホクレン	「緑肥作物を導入した合理的畑輪作技術の確立」
野菜の内部品質（栄養成分）の時間経過による変動調査	現在、「移出野菜・花き鮮度保持、輸送技術」の中でホウレンソウについて流通中の内部品質変化の試験を行っている。温度条件と一定時間経過後の内部成分のレベルを推定する方法の開発が必要と考えられる。	日高中部地区農業改良普及センター	今後も課題化を追求
おうとう幼果菌核病、炭そ病の発生生態と防除法	おうとうの炭そ病・幼果菌病・灰星病などの総合防除試験の課題化を検討したい。	北後志地区農業改良普及センター	今後も課題化を追求
果菜類（メロン）のマキバメクラガメの防除対策	課題化を検討したい。	中後志地区農業改良普及センター	今後も課題化を追求
キャベツの軟腐病発生メカニズムの解明	メカニズムの違いが防除効果に影響している可能性がある。防除に限界はあるが、研究の必要性はある。	十勝西部普及センター	今後も課題化を追求
小豆根ぐされ病対策（仮称）	土壌伝染性病害なので防除は困難。品種対応、または土壌環境改変で抑制可能かもしれない。	十勝東部普及センター	今後も課題化を追求
たまねぎ育苗床上の乾腐病防除法の確立	管内の重要課題として認識しており、メーカーの協力が得られれば資材試験として対応可能なので、メーカーへ要望したい。	北見地区農業改良普及センター	今後も課題化を追求
たまねぎ防除散布水量の検討（少量散布の技術開発）	クリーン農業の立場から必要な課題である。農薬及び機械メーカーからの要望があれば、課題化を検討したい。	湧別地区農業改良普及センター	今後も課題化を追求
馬鈴しょの粉状そうか病対策	試験研究の必要性を理解しているが、各研究課題の中で対応し、順次設定していきたい。	南後志地区農業改良普及センター	「ジャガイモそうか病総合防除法開発試験」の中で実施
マキバメクラガメの発生生態と防除技術	初動研究の成績を検討してから、課題化を検討したい。	十勝中部普及センター	「小豆子実を加害するマキバメクラガメの発生生態と防除対策」
メロンえそ斑点病防除方法の確立	現在、花・野菜技術センターで抵抗性品種の育成を進めている。さらに、同センター病虫科でも総合防除対策の確立をめざして、課題化を検討している。	小平町	「メロンえそ斑点病の総合防除対策」
花きの病害虫防除技術の確立	花類の灰色かび病について課題化を検討したい。（病虫） 灰色かび病対策については早急に課題化し、耕種的防除を含めた対応を検討したい。（園芸）	農産園芸課	「スターチス・シヌアータ（栄養系品種）の灰色かび病被害軽減のための栽培法の改善」
馬鈴薯黒あし病内部保菌率の迅速かつ大量処理可能な検定方法の確立	診断試験で対応したい。	十勝農協連	今後も課題化を追求
整地・は種作業の複合化	今後の大規模化に対応するために、てん菜、小麦、豆類などで検討する予定である。	十勝中部普及センター	今後も課題化を追求
農場におけるTMRセンターの経済効果の研究	道内では近年TMRセンターの設立が散見される。TMRセンターの適正規模、機能、効果は未解明であり、研究に着手する必要がある。	釧路西部地区農業改良普及センター	今後も課題化を追求
自然環境復元のための地域住民活性化及び合意形成手法の開発	農村の自然環境を生かした活性化は、今後最も重要な課題になり、地域的な環境保全の流れとも合致するため、試験場として早急に取り組むことが必要と考える。	設計課	「湿地ビオトープの多面的機能の評価と整備・復元手法」

農村地域における総合的な水質環境の改善手法の確立	農業・農村における水質への環境負荷を軽減する技術開発は緊急を要する。休耕地やビオトープ的な湿地、さらには低コスト資材を活用した簡易浄化手法の開発が必要である。今後関連分野が連携し、プロジェクト体制で取り組むべき課題であると考ええる。	設計課	「湿地ビオトープの多面的機能の評価と整備・復元手法」
無材暗渠排水工法の確立	現在の課題の中で予備的に調査しているが、具体的な施工指針については今後検討する必要がある。	設計課、農地整備課	「排水不良地に対する低コスト無材暗渠施工効果」
優良転換畑の創出に向けた高水準土層改良工法の開発	立地条件や土壌条件に対応した作物導入区分と高水準な土地改良対策については今後関連分野で検討する必要がある。	設計課、農地整備課	今後も課題化を追求
バルククーラー等の洗浄水の処理方法	牛乳処理室等の洗浄雑排水を糞尿と混合処理した場合の、洗剤、殺菌剤等の糞尿の発酵への影響および草地への影響等について明らかにする必要がある。課題化を検討中である。	宗谷支庁農業振興部農務課	「家畜ふん尿循環利用システム開発」の中で実施
分娩前飼養環境ストレス等が分娩前後の疾病および生産性に及ぼす影響を明らかにする	現行調査結果を基に「乳牛の供用年数短縮の要因解明（仮称）」（H12年～予定）で、分娩前後の飼養管理と生産病および産乳性との関連について検討したい。	宗谷南部地区農業改良普及センター	「乳牛の第四位変異の発症要因解明と早期診断技術の開発」
粗飼料の栄養価と嗜好性の関係	嗜好性の評価は重要な研究テーマであるが、対応は不十分であり、施肥等、草地の維持管理面からの嗜好性への影響について、より多くの情報を収集した上で、将来的に課題化を検討したい。	宗谷北部地区農業改良普及センター	「低コスト生産のための乳牛飼料設計支援システムの確立」
ふん尿処理方式による環境影響度と安価な処理方法の検討	環境負荷低減と低コスト双方を満足させる処理システムは提案されていない。H11年度より、「バイオガスプラントによる家畜糞尿の有効利用技術」、「家畜糞尿による環境汚染防止対策技術の体系化」等の課題のなかで検討する。	宗谷北部地区農業改良普及センター	「バイオガスプラントによる家畜ふん尿処理・利用システムの実用化研究」

[目次へ戻る](#)